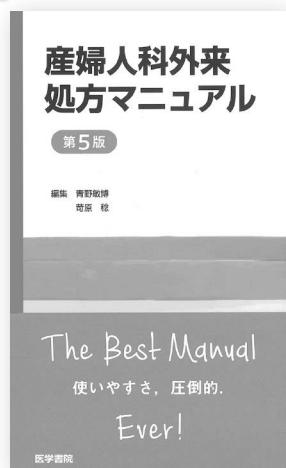


今月の特集関連本 ④



産婦人科外来処方マニュアル

第5版

青野敏博、苛原 稔＝編

本体 3,200 円＋税／B6 変判・216 頁／医学書院／2019

本特集でもとり上げた「月経異常 (p.294)」をはじめ「更年期障害 (p.334)」「感染症」「がん」「尿失禁・過活動膀胱 (p.340)」を含む、「女性への処方」を網羅。「妊娠中」の処方についても。

産科婦人科外来で日常的にある疾患と治療薬処方。その大切なところだけをまとめあげたマニュアル。「薬の選択が悩ましい」「症状別に薬を使い分けたい」、そんな読者のため、徹底的な現場主義を貫いた。疾患ごとに「治療概説」「処方例」「処方解説」「薬剤解説」「ワンポイントアドバイス」で構成。漢方薬やジェネリックなど新規付録も。



『総合診療』2020年7月号 (Vol.30 No.7)

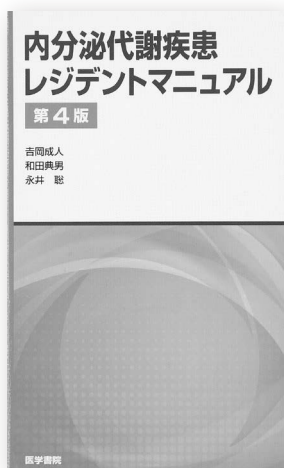
その倦怠感、単なる「疲れ」じゃないですよ!

筋痛性脳脊髄炎 / 慢性疲労症候群とミミック

片岡仁美＝企画

本体 2,500 円＋税／B5 判・136 頁／医学書院／2020

新型コロナウイルス感染症の後遺症としても注目される「筋痛性脳脊髄炎 / 慢性疲労症候群 (ME/CFS)」(p.314)の最新情報を、「疲労・倦怠感」を主訴とするミミック (慢性感染症、内分泌疾患、膠原病・慢性炎症性疾患、神経疾患、睡眠障害・精神疾患) と併せて網羅した。ME/CFSの当事者がその「体感」を描いた4コマ漫画に始まり、ME/CFSの鑑別疾患を見開きで俯瞰する「at a glance」も。本特集と同じく、片岡仁美先生のご企画による。



内分泌代謝疾患レジデントマニュアル

第4版

吉岡成人、和田典男、永井 聡＝著

本体 3,200 円＋税／B6 変判・384 頁／医学書院／2017

糖尿病は言うに及ばず、内分泌疾患も専門医だけが診る稀な疾患ではない。社会的にも関心の高い骨粗しょう症を含め、コモンディージーズとしての内分泌代謝疾患の臨床を簡潔に解説した安定の第4版。甲状腺がんに対する分子標的薬、先端巨大症や原発性副甲状腺機能亢進症の診療薬の新たな保険適用、糖尿病の新しい経口薬、高齢糖尿病患者の代謝管理、血糖コントロール目標など学会ガイドラインの改訂にも対応。